

SNSでは、つがってあげて
たまには、みんなと会うのもいいなあ



いwash雲

VOL.18



東京支部結成70周年・舞鶴魂

双鶴同窓会東京支部は一昨年、結成70周年を迎えました。

初代支部長の大家喜一郎氏は1928年(昭和3年)に京都府立舞鶴中学校を卒業して三高に進まれ、1935年には司法試験に合格し弁護士登録をされました。その後、政治家を目指された一時期もありましたが、1959年に日弁連事務総長に就任、さらに東京第一弁護士会会長などを歴任し、1973年に最高裁判所裁判官に就任されました。この間、東京丸ビルに事務所を構えて活躍される傍ら、1950年に双鶴同窓会東京支部を結成され、同窓会東京在住者を集めて名簿を作成するなど、今日の東京支部の基礎を築くとともに、長きにわたって東京支部長を務められました。

京都府の高校で定期的に東京にて同窓会総会を開催しているのは数校しかないと言われており、その中で最初に結成されたのはおそらく双鶴同窓会東京支部であろうと思われる。このように、大家喜一郎氏を初めとする多くの先輩方のご努力と、双鶴同窓会本部、京都支部、阪神支部、更には、舞鶴市東京事務所等のご支援もあって、今日まで脈々と東京支部活動を続けられたことに、あらためて感謝の思いを強くしております。

近年、時代の変化が激しく、地域間、企業間、企業内の競争も激化しており、舞鶴から遠く離

れた地域で荒波に揉まれて孤軍奮闘している卒業生も多い

と思います。また、ふるさと舞鶴への愛着はあっても舞鶴の空気に触れる機会が少ないと思います。双鶴同窓会東京支部にはこうした環境の中を生き抜いてきた経験豊富な方々も多く、若い人たちにとって良きアドバイザー、良き相談相手になれることもあると思います。同窓会の集まりは舞鶴魂を持った仲間が集まりであり、情報交換や親睦、憩いの場でもあり、ふるさと舞鶴を応援することにも繋がります。

一昨年は新型コロナウイルス感染拡大のため東京支部総会が開催中止となり、未だ感染終息が見通せない状況ではありますが、昨今の状況を踏まえて本年11月6日(日)に京王プラザホテルにて「東京支部結成70周年記念総会」を開催することとしました。4年ぶりの東京支部総会となりますが、感染防止を徹底しながら、多くの同窓会メンバーにお集まりいただいで、70周年記念総会を共に盛り上げたいと考えております。

皆様のご参加を心よりお待ちしております。

東京支部長 増本 治夫





双鶴同窓会東京支部の皆様におかれましては、平素より本校教育活動に温かい御支援をいただき、誠にありがとうございます。皆様の母校である西舞鶴高校は、今年、加佐郡立高等女学校創立から115周年、旧制舞鶴中学校創立からはちょうど100周年となる節目を迎えています。その周年記念の事業として、学校のシンボルとも言える立派な校旗を双鶴同窓会様より寄贈いただきましたこと、重ねて感謝申し上げます。

さて、地域の少子化が進むなか、現在の西高は学年5クラス編成に規模が縮小されてはいるものの、大江選手像に刻まれた「努力と友情」、「文武両道」を大切に作る校風は皆様の頃と何ら変わるものではありません。部活動加入率は9割を超え、中には3つの部活を掛け持ちする意欲旺盛な生徒もいます。男子ソフトテニスが団体で府大会3位入賞、男子水泳や女子走り幅跳びも近畿大会に出場するなどの運動部の活躍、コンクールやイベント参加で活動の場を広げる文化部に加え、西駅東口ロータリーの草生い茂る花壇をきれいなお花畑に再生させたボランティア部の活動など、西高生のエネルギーで地域を元気にしています。

そうして気持ちの良い汗を流した後に訪れる進路の季節。この春も、卒業生の約4分の3が大学進学。4分の1の生徒が国公立大学に進学しましたが、京大や阪大、医学部をはじめとする難関を突破し希望進路を実現した生徒の多くは部活動との両立を果たした生徒でした。「勉強も、部活も、全部。」それが今の西高生たちの合言葉。二兎も三兎も追いながら、みなさんの後輩たちもまた立派な若鶴に成長しています。

IT技術革新が進むなか、今年の1年生からは、全員がタブレットを持って授業を受ける時代になっています。変化を前向きに捉えて未知なるものにも挑戦する勇気、転んでも立ち上がる回復力や他者と繋がってより良い変化を生み出す行動力など、西高生たちが人間力をさらに豊かに逞しくできるよう、「不易と流行」を見極めつつ新たな西高の伝統を創造していきたいと思えます。

母校の様子は学校ホームページで随時更新しています。懐かしい校舎や西高生のはつらつとした姿もたくさん登場していますので、是非ともご覧ください。そして、「中学生にとっては憧れの高校。西高生にとっては青春の舞台。同窓生にとっては原点であり誇り。」そんな西高であり続けるためにも、全日制579名、通信制132名の後輩たちの挑戦を、今後とも温かく見守っていただきますようお願い申し上げます。

結びにあたり、コロナ禍の一日も早い収束と双鶴同窓会東京支部の皆様方の御健勝・御多幸をお祈り申し上げ、御挨拶といたします。

ごあいさつ

京都府立西舞鶴高等学校校長 松下茂男



ごあいさつ

双鶴同窓会会長 内藤行雄



東京支部の皆様には、ますますご健勝にてお過ごしのこととお喜び申し上げます。

また、日頃は同窓会活動に対し、格別のご支援ご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、コロナ感染症の拡大も3年目に入り、依然として収束の見込みの立たない状況にありますが、それでもこのところ少し落ち着いてきたように感じしております。

皆様のふるさと舞鶴でも、明治34年(1901年)に海軍鎮守府が開庁されて以来120年の時を刻み、開庁当時建てられた海軍倉庫が「赤レンガパーク」として、新たな

観光スポットとなっており、休日には様々な催しが行われ、多くの人でにぎわいを見せております。また、近くの自衛隊棧橋に停泊する艦船を見学しようとする人の列が国道沿いに続き、海から港を眺める港巡り遊覧船乗り場にも多くの人が戻ってきました。

このように、以前のにぎわいが戻ってきたことを感じながらも、まだまだ予断を許さない状況の中さる6月11日(土)3年ぶりに本部総会を開催しました。「コロナ禍のもと、まだ多人数での会食を控える職場もあることに配慮して、今年度は懇談会なしの、理事会・評議員会のみ」の総会で、それぞれの皆様にご出席いただけるものかと案じていました。が、東京・阪神・京都支部をはじめ、例年と変わらない多くの皆様にご出席をいただき、無事開催することができました。「ご苦労さん」久し振り、

変わりない……など和やかな言葉が飛び交い、改めて同窓会の絆をありがたく思いました。

コロナ禍で十分な活動ができていない中、今年は本校の前身である京都府立舞鶴中学校が大正11年(1922年)に創立されて100周年という記念すべき年を迎えました。この記念すべき年に、同窓会として何か記念事業ができないかと考え学校とも相談をした結果、式典時に使用する校旗が新調されてから50年あまりが経過し痛みが激しく、新しいものにできたらとの要望があり、役員会に諮り校旗を寄贈することになりました。

来賓として総会に出席された松下校長は挨拶の中で、校旗を寄贈していただいたことに対し「中学生にとっては憧れ」「西高生にとっては青春」「卒業生にとっては誇り」そんな西高であり続けるためにも、新しい校旗のもと新たな伝統を築くため前進していきたいと感謝の言葉を述べられました。

新しい校旗はえんじ色を基調とした横120cm縦80cmの大

きさで、中央に金系銀系で校章が施されており、令和3年度卒業式(3月1日)に早速披露され、全日制236名、通信制18名の卒業生が、西高生の誇りを胸に母校から巣立っていったことを報告されました。

コロナ禍の中で様々な制約を受け高校生活を過ごしている西高生が、新しい校旗のもと先輩方に負けない学校づくりに励んでもらえたらと同窓生も願い、今年の総会を終えました。

結びにあたり、東京支部総会のご盛会と皆様方のご多幸、ご健勝をお祈り申し上げ挨拶といたします。



双鶴の思い出

昭和29年卒 関えつ子



NHK「おかえりモネ」出演 (2021年5月待機時撮影)

私が初めて同窓会の知らせを受け取ったのは、何時の頃だったかと指を練ったりしております。さ程に遙か昔の事となりました。

その頃、舞台公演のチラシ等を持って井田邦弘氏の事務所へ伺いました。それが井田氏との初めての出会いでした。井田氏もお若く、当時の事務局長でいらつしゃいました。

私の双鶴の思い出は、何と云っても「一人芝居」をご覧頂いた事。東京双鶴の会では時を変え、会場を変えて、三回公演しております。

また、舞鶴の引揚記念館設立の頃、西舞鶴と東舞鶴で二日間公演致しました。いずれも井田氏のご尽力でした。町田市長さんの頃です。

双鶴の会と「一人芝居」は私にとって切り離せない記憶となりました。

井田氏亡き後、山口文明氏が

支部長に。再び山口氏のお世話になり「佐倉」で公演致しました。その際も双鶴の若い方々が音響や照明を担当して下さいました。また、事務局の澤田謙二氏には稽古の折の効果にお付き合ひして下さいました。懐かしいかぎりです。

時は流れました。今では中学校、女学校のお懐かしい先輩の方々も多くは去られ、私などが年嵩とは感無量です。

この三年間何かと変化していく世の中、残り少ない老いの身、勿体無い世の中となりましたが、今年双鶴の会を再開なさるとの事、お若い方々のお力、嬉しく思います。どうか成功しますように、またコロナに邪魔されませんようにとお祈りするばかりです。過ぎ去った歲月の思い出です。

東京支部の発足と発展

双鶴東京支部は昭和二十七年七月東京丸の内丸ビル精養軒で第一回総会を開き発足した。その経緯は「いわし雲」創刊号に岸田秀男氏(舞中14回)が書いておられる。「当時は物がなかったで、サンドウィッチとジュースだけだったが約70名が参加した」とある。

その後も同じ場所何度か開催されたようだが、中断していた。

昭和四十七年四月、舞中一回生の「帰一會」が箱根で催され、舞中柔道部の松谷輝一先生(タールさん)が病を押して出席されるとの情報があり、東京在住の会員がタールさん夫婦を東京まで呼ぼうと企画し、東京市ヶ谷会館で在京舞中会を催した。これには舞女、西高代表者の参加を得て、大盛会となった。続いて山田孝一郎先生(チャボさん)を囲む同様の会があった。

昭和五〇年代に双鶴東京支部を復活させようということになり、隔年支部総会を続けるようになった。

最も印象的であったのは、東京浜松町での一九七七年(昭和五二年)の「大江季雄選手を偲

ぶ総会」であった。この日は、大江選手のお姉さんの岩仲初枝さん、西田修平元選手が出席され、一九三六年のベルリン大会での棒高跳銀・銅の友情メダルの「再会」という歴史的イベントがあった。この会のことには翌日の全国紙でも取り上げられて大評判になった。東京支部から母校へベルリン大会表彰式の大パネルを送ったのはこの年であった。最近では「いわし雲」とともに歩んで今日に至っている。

「いわし雲」と支部総会の歩み

いわし雲	総会開催日	開催場所	イベント	支部長	事務局長
創刊号	1982.12.4	市ヶ谷会館		大塚喜一郎	井田 邦弘
第2号	1984.11.19	五反田ゆうぼうと	関えつ子 一人芝居 女舞	大塚喜一郎	井田 邦弘
	1986.11.8	五反田ゆうぼうと	「花すみれ」 舞女80周年記念映画	増田 元一	井田 邦弘
第3号	1988.12.3	中野サンプラザ	「自然療法のおすすめ」 大槻 彰	増田 元一	井田 邦弘
	1990.10.20	駒場エミネンス	パネルディスカッション 「舞鶴おこし」	増田 元一	井田 邦弘
第4号	1992.11.7	中野サンプラザ	関えつ子 一人芝居 警女春秋	勝田 凌次	武中 勉
第5号	1994.11.12	銀座アスター新宿店		勝田 凌次	武中 勉
第6号	1996.11.9	中野サンプラザ	映画「月光の夏」上映 南 文憲	井田 邦弘	武中 勉
第7号	1998.11.14	中野サンプラザ	三遊亭小金馬 落語会	井田 邦弘	浜野 正人
第8号	2000.11.11	中野サンプラザ	今アマゾンから帰って きました 南 研子	井田 邦弘	浜野 正人
第9号	2002.11.16	中野サンプラザ	ロスガトス 神大フラーメンコサーク	井田 邦弘	浜野 正人
第10号	2004.11.13	中野サンプラザ	下田 悦子 歌謡オンステージ	井田 邦弘	浜野 正人
第11号	2006.11.11	プラザ・エフ	瀬野 光子 ソプラノリサイタル	井田 邦弘	浜野 正人
第12号	2008.11.15	スクワール麹町	関えつ子 一人芝居 警女春秋	井田 邦弘	浜野 正人
第13号	2010.11.13	Y'sエスタック 情報プラザ 4F	三遊亭小金馬師匠の 『落語』	山口 文明	澤田 謙二
第14号	2012.11.3	新宿京王プラザ ホテル	舞鶴名産オークション	山口 文明	澤田 謙二
第15号	2014.11.8	新宿京王プラザ ホテル	舞鶴産品大抽選会	山口 文明	澤田 謙二
第16号	2016.11.12	新宿京王プラザ ホテル	舞鶴産品大抽選会	増本 治夫	澤田 謙二
第17号	2018.11.18	新宿京王プラザ ホテル	舞鶴産品大抽選会	増本 治夫	澤田 謙二

「いわし雲」の由来

東京支部の「いわし雲」は昭和57年創刊、原則として支部総会がある年に発行している。

誌名の「いわし雲」は、望郷の思いを込めて初代編集者が選んだもの。

「いわし雲」は、巻積雲中、小斑点状に列状に広がる雲で、鯖雲、鱗雲ともいい、漁夫が鯛大漁の兆しとしている。同窓の歌人、西村尚氏(高校8回)に

鯛雲ながれてはやき西の方
秋ふるはせて雷は渡りぬ

という名歌がある。それに共鳴して名付けられたものである。

※いわし雲第13号より抜粋

15回 全盛期を築いた
方が思っていたよりも、
年月が経つにつれて、
いよいよ双鶴の会が
なごみ、静寂を帯びて
いきました。

関悦子さん
一人芝居を熱演
61・8・23
ユニー
の道を歩
む回廊を
歩いた。二
は、二の
二の

15回 全盛期を築いた
方が思っていたよりも、
年月が経つにつれて、
いよいよ双鶴の会が
なごみ、静寂を帯びて
いきました。

いわし雲3号(1988年)より抜粋

<ひと>
関悦子さん
(本名・井田悦栄 西高昭和29年卒)

15回 全盛期を築いた
方が思っていたよりも、
年月が経つにつれて、
いよいよ双鶴の会が
なごみ、静寂を帯びて
いきました。

関悦子さん
一人芝居を熱演
61・8・23
ユニー
の道を歩
む回廊を
歩いた。二
は、二の
二の

いわし雲4号(1992年)より抜粋



叔父高橋勇を偲んで

昭和42年卒
高橋一郎
(舞鶴吉原「日の出湯」経営者)

1971年舞鶴市で社会人としてスタートし定年退職後の2009年から、98歳の母が吉原で経営する「日の出湯」(東吉原 297)の経営を引き継いでおります。日の出湯は大正9年(1920年)開業の銭湯です。

昨年、国登録文化財に認定されました。
私は20歳で父を亡くしましたが、叔父が父親代わりとして私たち高橋家を支えてくれました。
私が、2人の子と孫まで授かり今があるのは、叔父「高橋 勇」のおかげです。

西舞鶴高校で器械体操部に所属した「いいたん」は10歳違う私に逆立ちをやらせてくれました。
学生時代は舞鶴に戻るたびに玄関先で同級生の方々と楽しい会話がもれてきました。その会話の中で「大学では、授業を自分で決めるんやっ!」という言葉が小学生の私の心に広がり、静かに止まりました。

それを聞いて、私は器械体操に取り組み大学でも練習に励み、社会人大会にも25年間参加することが出来ました。器械体操を通じて38年間の社会人としての仕事を大禍なく終えることが出来たのです。

叔父は18歳でお兄さんと二人で東京へ向かいました。浪人の年の秋(1953年9月25日)台風13号が吉原を襲いました。叔父勇の母「いさ」の実家は土砂の下になりました。吉原では13名犠牲者が出ました。

叔父勇の父「勝蔵」は合同の葬儀委員長を務め、裸足で葬列を歩き哀悼の心を示しました。

その心労もあってか父勝蔵は、翌年の春3月に亡くなってしまいました。叔父勇の中央大学合格の報の3日前の事でした。そんな勇さんにとって、故郷舞鶴の同級生・同窓生のみなさんとの触れ合い、支えあい、励ましあいは兄弟に匹敵するものだったようです。

この場に叔父勇が居たらその時の思いを語ったであろうと思います。



師弟、瀬野修先生と大江季雄選手

定時制課程 昭和36年卒 山口 文明



旧制舞鶴中学校が創設された大正十一年に瀬野修は第一回生として入学した。昭和二年、舞鶴初の卒業生として巣立ったこの年、新舞鶴尋常小学校から大江季雄が入学した。舞中の学び舎では生徒として二人の接点はなかった。しかし、大学を卒業して郷里に戻り母校の国語教師として教壇に立った瀬野修先生の教え子の中に、棒高跳に情熱を燃やす大江季雄選手がいた。万葉集に造詣が深かった瀬野修先生は、今も後輩に歌い継がれている舞中応援歌をいくつも作った。

アムステルダム五輪の三段跳で日本人金メダル第一号となった織田幹雄は、母校・早稲田大学関係者に「舞中の大江を早稲田にゼツタイ獲得すべし!」と檄を飛ばしていた。ところが、慶應義塾大学は飛び級という飛び道具を使って舞中四年生の大江選手を入学させることに成功した。後年私が、東京渋谷区松濤の織田邸を訪ねたとき、このことを思い出して悔しそうに話していた織田の顔が忘れられない。

旧制舞鶴中学校が創設された大正十一年に瀬野修は第一回生として入学した。昭和二年、舞鶴初の卒業生として巣立ったこの年、新舞鶴尋常小学校から大江季雄が入学した。舞中の学び舎では生徒として二人の接点はなかった。しかし、大学を卒業して郷里に戻り母校の国語教師として教壇に立った瀬野修先生の教え子の中に、棒高跳に情熱を燃やす大江季雄選手がいた。万葉集に造詣が深かった瀬野修先生は、今も後輩に歌い継がれている舞中応援歌をいくつも作った。

福知山連隊の大江少尉は太平洋戦争緒戦の十二月二十四日未明、フィリピンルソン島ラモン湾上陸作戦の先陣に立ち、敵の銃弾に倒れた。輸送船に戻され、ちょうど乗りあわせていた第四野戦病院付、兄の大江泰臣軍医の胸に抱かれて絶命した。まだ二十七歳の若さであった。

祝 東京支部 発足70周年

浜野 正人

の戦中・戦後の話を聞くのが楽しみでした。
さらに、同窓の紹介で相撲部屋(境川)を見学し現役関取と共にちゃんこ鍋を食べたり、親睦旅行、俳句の会、映画・演劇鑑賞、選挙応援、同窓の文化勲章受賞祝い、本部・支部総会の出席と同窓生の集まりならではの楽しみでした。
78歳(昭和38年卒)になりましたがいろいろな方と巡り会えました。感謝しております。
11月の東京支部総会には是非皆さん参加し楽しい1日を過ごしてください。



2011.11.撮影 (後列一番右が浜野さん)

「ふるさと舞鶴」の発展に ご支援ご協力をいただき 心から感謝申し上げます。

双鶴同窓会東京支部が設立70周年の記念すべき節目を迎えられましたことを心からお祝い申し上げます。皆様におかれましては、平素より「ふるさと舞鶴」の発展にご支援ご協力をいただき、心から感謝申し上げます。

ご承知のとおり、新型コロナウイルス感染症の感染拡大によって、この2年間、社会経済活動が停滞を余儀なくされるなど、我々の社会に甚大な影響をもたらされました。こうした中、持続可能な「ビヨンド・コロナ社会」を実現するためには、大都市集中型の社会経済システムから脱却し、都市と地方が連携共



ごあいさつ

舞鶴市長 多々見 良三

生、役割分担する地方分散型社会を構築することが重要であるとの認識が国全体で広がっています。

舞鶴市には、豊かな自然、連続と引き継がれてきた歴史・文化の中で、お互いさまの精神が根付いた地域コミュニティがしっかりと残っており、医療、教育、子育て環境等の基盤が整備され、高い合計特殊出生率を有するとともに、大都市と適切な距離で繋がることができ、人流・物流システムが構築されています。本市は、そうした地域資源を最大限に活用しながら、高等教育機関や民間企業などとの「多様な連携」により、SDGs 未来都市として「経済」「社会」「環境」の好循環を生み出す様々な施策を進めているところであり、まさに地方分散型社会に求められる地方都市であると考えています。

こうした本市の取組みは、ま

ちの魅力の向上につながっており、本年発売された2022年版「田舎暮らしの本」ベストランキングにおいて、近畿エリアで、子育て世代が住みたいまち1位、若者世代・単身者が住みたいまち2位、シニア世代が住みたいまち3位に本市が選ばれているなど、高い評価を受けたところであります。

また、舞鶴市を含む京都府北部地域は、国防と海の安全の拠点、ものづくりの拠点、関西経済圏に電力を供給するエネルギーの拠点さらには、災害に強い京都舞鶴港を有し、太平洋側の大地震時にバックアップする高いリダンダンシー機能など重要な使命を有しており、100年後もこれらの役割を果たさなければならぬ地域です。京都府北部5市2町では、本圏域が将来にわたって、拠点機能を発展させ、圏域全体で、質の高い教育、医療などが受けられる人口20万

人規模の都市機能を維持しているため、水平型連携による持続可能な圏域づくりを推し進めているところでもあります。

本市では、「ITを活用した心を通う便利で、心豊かな田舎暮らし」を目指すべきまちの将来像に掲げ、地方分散型社会を構築する地方都市のトップランナーを目指した取組みを推し進めてまいりますので、双鶴同窓会東京支部の皆様には、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。



協賛企業

今回のいわし雲におきまして協賛をいただきました。
まことにありがとうございます。

あったか、ほっこり農園

http://www.fururufarm.com/

株式会社 農業法人ふるる

代表取締役 秋安 俊豪

農業公園及び親海公園で「農村レストランふるる」「エムズデリ」及びコテージ、手作りお菓子工房、マーケットを運営しています。

TEL : 0773-68-0233

京都府舞鶴市字瀬崎60番地

株式会社北近畿空き家バンク

代表取締役 砂原 由明 ~砂原不動産鑑定士事務所~

不動産鑑定、総合コンサルティング、不動産取引、
空き家・相続相談、ファイナンシャルプランニング

TEL : 0773-77-5643 <https://akiyabank.co.jp>

京都府舞鶴市魚屋107番地

1728年 集団移住からあと6年で300年

五老の地下水
吉原町創業

日の出湯

地域の健康と
共に湯の力を

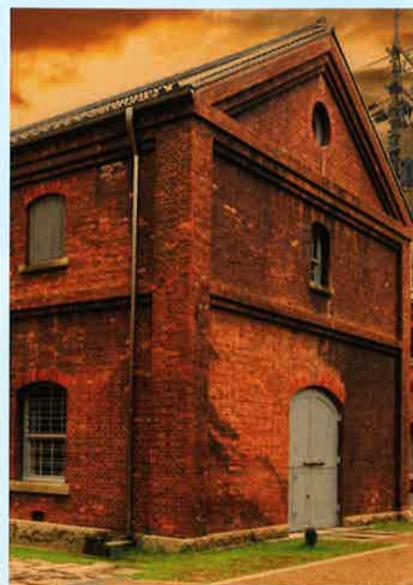
TEL 0773-75-0366 駐車可

京都府舞鶴市字東吉原 297



事業報告 (活動報告)

- 2018.11.18 東京支部総会開催(於:新宿京王プラザホテル)
- 2019.1.2 卒業30周年記念同窓会出席(於:舞鶴グランドホテル) 増本支部長
- 2019.1.27 総会打合せ兼反省会(12名参加)
- 2019.5.18 総会に向けて幹事会(20名参加)
- 2019.6.8 本部総会出席(於:舞鶴グランドホテル) 増本支部長・澤田事務局長
- 2019.7.6 関東青葉嶺会総会出席(於:中野サンプラザ)澤田事務局長
- 2019.9.7 総会に向けての打合せ(27名参加)
- 2019.11.16 阪神支部総会出席(於:新大阪ワシントンホテル)
増本支部長・澤田事務局長
- 2019.11.30 2020年度総会開催について打合せ(26名参加)
- 2020.5.16 2020年度東京支部総会中止案内を全会員に郵送通知
- 2020.10.5 京都府東京事務所表敬訪問
増本支部長・野中アドバイザー・澤田事務局長
- 2022.5.21 2022年度支部総会開催について第1回幹事会(16名参加)
- 2022.7.16 第2回幹事会(15名参加)
- 2022.11.6 東京支部設立70周年記念総会開催予定
(新宿京王プラザホテル錦の間)



会計報告(2018年4月1日~2020年3月31日)

収入の部		支出の部	
繰越	3381,946	総会会場費	827,776
運営費	505,000	いわし雲・パンフレット等	230,000
会費(8,000×93)	744,000	案内状発送費	174,775
ご祝儀	22,000	来賓土産・協賛者謝礼等	64,716
寄付	135,390	払込手数料	21,728
本部補助金	200,000	総会用その他	35,104
名刺広告料	90,000	通信事務費等	45,380
利子	4	交流会費	340,890
雑収入	17,739	その他	28,586
小計	1,714,133	小計	1,768,955
		次期繰越	327,124
合計	2,096,079	合計	2,096,079

会計報告(2020年4月1日~2022年3月31日)

収入の部		支出の部	
繰越	327,124	案内状発送費	75,600
本部補助金	200,000	払込手数料	200
利子	4	雑費	19,404
小計	200,004	小計	95,204
		次期繰越	431,924
合計	527,128	合計	527,128

～お礼～

2018年度総会開催時より1年1,000円、2年分2,000円の会費のご協力をお願いしているところ、たくさんの方々より会費及び協賛をいただきありがとうございました。ここに厚く御礼申し上げます。

お願い

東京支部は会員の皆様からの会費と幹事の協力により成り立っております。
総会案内の郵送料や総会開催費用など支部運営のため一人でも多くの皆様に会費を納めて頂きますよう皆様のご理解ご協力をおねがいいたします。
総会欠席の方も、出欠ハガキの返送とともに、会費を納めて頂きますよう重ねてお願い申し上げます。

双鶴同窓会 東京支部開設70周年記念 現地説明会のご案内

靖國神社の「さざれ石」は舞鶴産だった！

靖國神社に据え置かれている「さざれ石」は舞鶴市岡田由里で採取された石で、当地で採石等を行われている上野商事(株)さんが奉納されたものです。

今回は、靖國神社に奉納された「さざれ石」の前で、上野商事(株)上野社長より双鶴同窓会東京支部会員の方に「さざれ石」の説明を頂けることとなりました。
ご関心、ご興味がございましたら総会当日の午前中になりますが靖國神社にご参集ください。



靖國神社「舞鶴採取さざれ石」見学とさざれ石の説明

集合場所：靖國神社 第二鳥居前
「九段下駅」出口①より徒歩7分

集合日時：2022年11月6日(日)
AM 10:30

説明者：上野商事株式会社
社長 上野仁時 様

※総会懇親会会場にてさざれ石の即売会(5万~8万)を予定しております。

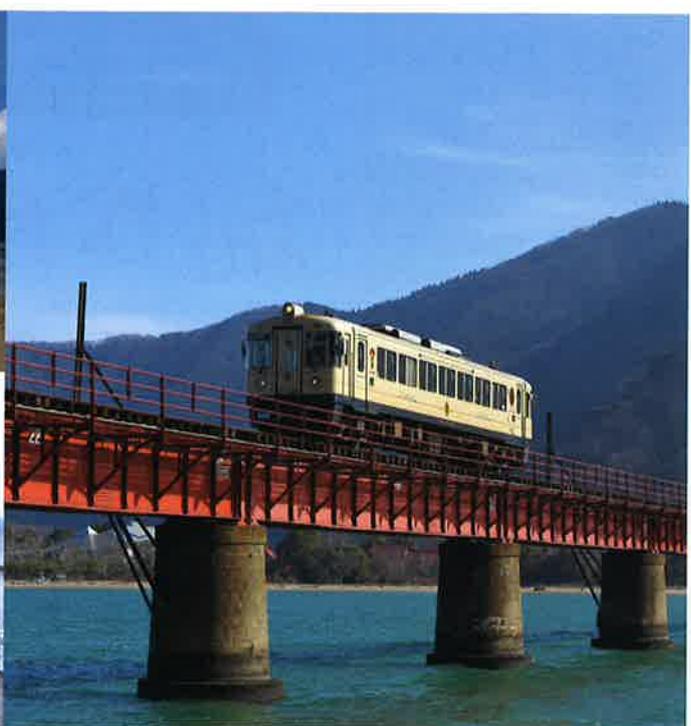
舞鶴採掘現場



舞鶴市大川神社



靖國神社の「さざれ石」を見に行ってきました。
H21年卒業 夏目亜季(タレント/荒川区議会議員)



2022年度 双鶴同窓会役員

【本部】

会長 内藤 行雄 (昭41高)
 副会長 南部 正治 (昭51高)
 副会長 志摩 敏樹 (昭56高)
 副会長 左織 美紀恵 (昭56高)
 副会長 佐古田 政彰 (昭58高)
 理事長 渡辺 弘 (昭48高)
 副理事長 林 博之 (昭59高)
 顧問 松下 茂男 (校長)

【京都支部】

支部長 齋藤 敏明 (昭36高)
 事務局長 原田 易典 (昭48高)

【阪神支部】

支部長 谷村 久兒雄 (昭42高)
 事務局長 坂根 章二 (昭48高)

<東京支部>

支部長 増本 治夫 (34年卒)
 副支部長 飯澤 邦雄 (40年卒)
 團野 耕一 (48年卒)
 本合 泉 (56年卒)
 会計 小平 智子 (47年卒)
 塩川 泰子 (52年卒)
 会計監査 柏原 均 (42年卒)
 幹事 浜野 正人 (38年卒)
 山下 彰夫 (41年卒)
 飯田 由樹 (42年卒)
 是竹 秀夫 (43年卒)
 小池 政弘 (47年卒)
 福林 徹 (48年卒)
 中西 正博 (49年卒)
 北村 麻由美 (52年卒)
 田中 栄治 (53年卒)
 水嶋 尚紀 (56年卒)
 山際 美麗 (56年卒)
 紀田 亮平 (H11年卒)
 事務局長 澤田 謙二 (48年卒)
 事務局長 坂本 秀樹 (56年卒)
 顧問 山口 文明 (36年卒)
 アドバイザー 野中 信夫 (35年卒)
 黒田 準介 (38年卒)
 今西 高生 (H4年卒)

双鶴同窓会東京支部会則

(名称) 第1条 本会は双鶴同窓会東京支部という。

(事務局) 第2条 本会は必要に応じて事務局を置くことが出来る。

(目的) 第3条 本会は会員の教養を高め、会員相互の親睦を図ると共に本部及び他支部と連携し母校の発展を援助することを目的とする。

(会員) 第4条 本会は舞鶴高等女学校、舞鶴第一高等女学校、舞鶴中学校、舞鶴第一中学校、西舞鶴高等学校を卒業した者で関東地区及び中部以東の東日本全域(東北・北海道を含む)に在住、又は勤務する者及びこれに準ずる者をもって組織する。

(役員) 第5条 本会に役員をおく。

1. 支部長	1名	6. 会計監査	1名
2. 副支部長	若干名	7. 顧問	若干名
3. 事務局長	1名	8. 事務局次長	1名
4. 幹事	若干名	9. 学年幹事	各学年若干名
5. 会計	2名		

事務局補佐として任意でアドバイザーを若干名おく。

(役員の出選及び任期)

第6条 役員は総会において選出し、その任期は4年とする。但し、再任を妨げない。

(経費) 第7条 本会の経費は会員の年会費のほか、総会会費及び運営費その他の収入をもってこれに充てる。会員の年会費は1,000円とし、総会開催年に2年分2,000円の会費を納入するものとする。

(事業) 第8条 本会は第3条の目的を達成する為次の事業を行う。

1. 総会の開催
2. その他目的達成に必要な事項

(会計年度)

第9条 本会の会計年度は4月1日から翌々年の3月31日までとする。

(会則の変更)

第10条 本会則の改訂は総会において行う。

附則 この会則は双鶴同窓会会則第6条、双鶴同窓会支部規定に準じ2002年11月16日から実施する。

- 2012年11月3日 第4条、第5条改訂
- 2016年11月12日 第7条改訂
- 2018年11月18日 第5条役員改訂

